

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ポイズ 530

製品コード: B0002608

製造業者/輸入業者/販売業者情報

国内製造事業者等の情報

会社名: 花王株式会社
住所: (〒131-8501) 東京都墨田区文花 2-1-3
電話番号: 03-5630-7601
FAX番号: 03-5630-7964
担当部門: ケミカル事業部門
電子メールアドレス: chemical@kao.co.jp

化学品の推奨される用途と使用制限

推奨用途: データなし。
使用上の制限: 知見なし。

緊急連絡電話番号: 03-5630-7601

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

区分に該当しない

ラベル要素

本品は、GHS に準ずる危険警告ラベルを必要としない。

絵表示: シンボルなし

注意喚起語: 注意喚起語なし

危険有害性情報: 対象外

安全対策: 取扱い後はよく洗うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急措置: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管: 換気の良い場所で保管すること。

廃棄: -

GHS 分類に該当しない他の危険有害性: なし。

3. 組成及び成分情報

混合物

一般情報: 危険有害性成分は無い。

成分:

| 化学名又は一般名 | CAS番号 | ISHL | ENCS | 含有率のパーセント (%) |
|---------------------|-----------|---------|---------|---------------|
| 特殊ポリカルボン酸塩型高分子界面活性剤 | 9003-04-7 | (6)-901 | (6)-901 | 40% |

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護: データなし

最も重要な、急性及び遅発性の徴候及び作用

症状: データなし

危険: データなし

直ちに必要な医療および特別な処置

処置: 症状が起きたら医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

| | |
|------------------------|--------------------------------|
| 適切な消火剤: | 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水 |
| 使ってはならない消火剤: | データなし |
| 物質または混合物に起因する特有の危険有害性: | データなし |

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

| | |
|----------------|---|
| 特有の消火方法: | 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。この製品自体は、燃焼しない。 |
| 消防士のための特別な保護具: | 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: | 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。 |
| 封じ込めと洗浄の方法および材料: | 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。 |
| 環境に対する注意事項: | 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 |
| 二次災害の防止策: | データなし |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|------------|---|
| 技術的対策: | 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |
| 局所排気、全体換気: | 適切な排気換気装置を使用する。 |
| 安全取扱注意事項: | 適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。 |

接触回避: データなし

保管

安全な保管条件: 容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値

製品: 知見なし。

設備対策: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。

個人用保護具など、個々の保護対策 (PPE)

眼/顔面の保護具: 保護眼鏡

手の保護具: 素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

呼吸用保護具: 状況に応じ着用

衛生対策: データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態: 液体

形状: 液体

色: 無色

臭い: ほとんど無臭

臭いの閾値: データなし

凝固点: <20 ° C/68 ° F

沸点: データなし

可燃性: データなし

燃焼又は爆発限界の上限/下限

爆発限界－上限: データなし

| | |
|-----------------|---|
| 爆発限界一下限: | データなし |
| 引火点: | 検出せず |
| 自然発火点: | データなし |
| 分解温度: | データなし |
| pH: | 9 (5%溶液) |
| 粘度 (粘性率) | |
| 粘性率: | 440 mPa. s (20 ° C/68 ° F) 270 mPa. s (30 ° C/86 ° F) 160 mPa. s (40 ° C/104 ° F) |
| 動粘性率: | データなし |
| 浮遊時間: | データなし |
| 溶解度 | |
| 溶解度 (水): | 可溶(易溶) |
| 溶解度 (その他) : | エタノールに不溶 |
| n-オクタノール/水分配係数: | データなし |
| 蒸気圧: | データなし |
| 比重: | データなし |
| 密度: | 1.306 g/ml (20 ° C/68 ° F) 1.301 g/ml (30 ° C/86 ° F) 1.296 g/ml (40 ° C/104 ° F) |
| 相対ガス密度: | データなし |
| 粒子特性 | |
| 粒子径: | データなし |
| 粒度分布: | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------|------------|
| 反応性: | データなし |
| 化学的安定性: | 通常の使用では安定。 |
| 危険有害反応可能性: | データなし |
| 避けるべき条件: | データなし |
| 混触危険物質: | データなし |
| 危険有害な分解生成物: | データなし |

11. 有害性情報**急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）****経口**

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

経皮

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

吸入した場合

製品: 粉じん及びミスト: データ不足のため分類できない。
蒸気: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

皮膚腐食性／刺激性

製品: 閉鎖貼付試験 (ウサギ, 24 h): 刺激性なし 未希釈
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: ドレイズ試験 ラット: 刺激性なし 未希釈
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品: 皮膚感作性, GPMT 皮膚: (モルモット): 陰性
皮膚: 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
呼吸器: データ不足のため分類できない。

発がん性

製品: データ不足のため分類できない。

IARC:

発癌性成分は確認されていません。

ACGIH:

発がん性物質を含まないか、規制値以下である

NTP:

発癌性成分は確認されていません。

日本産業衛生学会:

発癌性成分は確認されていません。

EU

発癌性成分は確認されていません。

生殖細胞変異原性

インビトロ (in vitro)

製品: Ames 試験 (TA98, TA100): 陰性
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

インビボ (in vivo)

製品: 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

生殖毒性

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

製品: データなし

その他の影響: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生植物毒性

製品: データなし

水生環境有害性 短期 (急性):

魚類

製品: LC 50 (ヒメダカ, 48 h): > 2,500 mg/l
利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生無脊椎動物

製品: 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生環境有害性 長期 (慢性):

魚類

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生無脊椎動物

製品: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

残留性・分解性:

生分解性

製品: データなし

BOD/COD比

製品: データなし

生態蓄積性

生物濃縮係数 (BCF)

製品: データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)

製品: データなし

土壤中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

規制されない

その他の情報:

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。おがくず等に混ぜて焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装:

データなし

14. 輸送上の注意

国際規則

IMDG

規制されない

IATA

規制されない

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

規制されない

毒物及び劇物取締法

規制されない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質:

規制されない

第二種特定化学物質:

規制されない

監視化学物質:

規制されない

優先評価化学物質:

アクリル酸重合物のナトリウム塩

化学物質排出把握管理促進法

規制されない

消防法:

危険物、指定可燃物に該当しない。

船舶安全法・危規則:

規制されない

航空法・施行規則:

規制されない

火薬類取締法:

規制されない

高圧ガス保安法:

規制されない

海洋汚染防止法:

Z 類:

輸出貿易管理令

規制されない

登録状況:

TSCA:

On or in compliance with the inventory

Canada DSL Inventory List:

On or in compliance with the inventory

Australia Industrial Chem. Act (AIIC):

On or in compliance with the inventory

| | |
|--|--|
| Korea Existing Chemicals Inv. (KECI): | Contact us for information |
| Japan (ENCS) List: | On or in compliance with the inventory |
| Japan ISHL Listing: | On or in compliance with the inventory |
| Philippines PICCS: | On or in compliance with the inventory |
| China Inv. Existing Chemical Substances: | On or in compliance with the inventory |
| REACH (EU): | Registered |
| Taiwan Chemical Substance Inventory: | On or in compliance with the inventory |

16.その他の情報

免責条項:

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡をお願いいたします。香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用ではIFRAスタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせして下さい。

発行日: 2020. 10. 16

改訂日 2025. 08. 14

版番号: 5.0

引用文献:

- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253: 2019)
- ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019